



<お知らせ>

2009年9月

志賀高原「バンダイナムコの森」で環境保全活動を実施

株式会社バンダイナムコホールディングス

バンダイナムコグループでは9月12日に長野県志賀高原の「バンダイナムコの森」でグループ社員約30名による森の保全や生態系保護に関する活動を行いました。

当日は「バンダイナムコの森」で里親契約を結んでいる和合会の協力のもと、森の保全活動の一環として、約1200㎡にわたり「バンダイナムコの森」の下草刈りを行ったほか、森に隣接する池にて生態系保護のための活動を行いました。これらの活動を通じ、参加者達は自然の豊かさを体験するとともに環境保全に関する理解を深めました。

バンダイナムコグループは、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し続けることを企業理念とし、「夢・遊び・感動」を提供し続けるためのCSR基本方針を定めています。今後もこの方針にのっとり、バンダイナムコグループらしい様々な活動に取り組みます。



「バンダイナムコの森」 2007年4月より長野県が橋渡しを行い森林の整備と利用に意欲を持つ企業と連携して推進する「森林（もり）の里親契約」を（財）下高井郡山ノ内町和合会との間で締結。志賀高原（長野県山ノ内町）の約47ヘクタールの森林の里親となり、森林整備作業の費用を一部負担するほか、森林保護と理解に繋がる各種活動の場として活用しています。